



## MATERION

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)	Molybdenum Chloride Oxide (MoCl <sub>2</sub> O <sub>2</sub> )
会社名	Materion Advanced Chemicals Inc.
住所	407 N 13th Street 1316 W. St. Paul Avenue Milwaukee, WI 53233 米国
担当部門	Milwaukee
担当者 (作成者)	Laura Hamilton
電話番号	414.212.0257
メールアドレス	advancedmaterials@materion.com
緊急連絡電話番号	ケムトレック ( Chemtrec ) 800.424.9300
Materion Code	2HT
整理番号	2HT

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない。	
健康に対する有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分1C
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
環境に対する有害性	GHS分類基準に該当しない。	

## GHSラベル要素

## 絵表示



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。重篤な眼の損傷を引き起こす。

## 注意書き

## 安全対策

取扱い後はよく洗うこと。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。産業衛生に気を配る。

## 応急措置

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。取り扱った後、手を洗うこと。

## 保管

施錠して保管すること。避けるべき物質の近くに保管しない。

## 廃棄

廃棄物および残渣の処理は地方自治体の規制に従う。内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って廃棄すること。

## GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

## その他の情報

混合物の100%は急性経口毒性未知の成分である。混合物の100%は急性経皮毒性未知の成分である。混合物の100%は水生環境に対する急性危険有害性未知の成分である。混合物の100%は水生環境に対する長期にわたる危険有害性未知の成分である。

For further information, please contact the Product Stewardship Department at +1.800.862.4118.

## 重要な徴候及び想定される非常事態の概要

## 重要な徴候

焼けるような痛みおよび重篤な腐食性の皮膚損傷。重篤な眼の損傷を引き起こす。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。

腐食性。重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。固体の形で販売されている材料は、一般に危険であるとはみなされません。しかしながら、粉碎、熔融、切断、または粉塵または煙霧の放出を引き起こす他のプロセスを含むプロセスでは、浮遊粒子の危険なレベルが発生する可能性がある。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
Molybdenum Chloride Oxide (MoCl <sub>2</sub> O <sub>2</sub> )	13637-68-8			100

### 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。化学やけどは医師による手当を受けなければならない。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

目に入った場合

直ちに多量の流水で最低15分間眼を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。嘔吐させない。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

焼けるような痛みおよび重篤な腐食性の皮膚損傷。重篤な眼の損傷を引き起こす。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。

応急措置をする者の保護

医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。

医師に対する特別な注意事項

一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。化学やけど：直ちに水で洗い流す。洗いながら火傷の部分に付着していない衣服を取り除く。救急車を呼ぶ。病院への搬送中も水洗い続ける。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

### 5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)。

使ってはならない消火剤

消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。

火災時の特有の危険有害性

火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

特有の消火方法

危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護

火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

一般的な火災の危険性

異常な火災や爆発の危険性は知られていない。

特定の消火方法

通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。

環境に対する注意事項

下水や水路、地面に排出しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

大量の漏出：リスクを伴わずに可能な限り、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出：吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項

眼、皮膚、衣類につけないこと。

接触回避	強酸化剤。
適切な衛生対策	本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。
保管	
安全な保管条件	施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。
安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管する。
<b>8. 暴露防止及び保護措置</b>	
許容濃度 ( 暴露限界値 ) および管理濃度	含有成分に関して暴露限界は設定されていない。
設備対策	この製品は、洗眼設備および緊急用シャワーがあるところで扱わなければならない。
保護具	
呼吸器の保護具	換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。
目の保護具	サイドシールドのついた安全眼鏡 ( またはゴーグル ) とフェイスシールドを着用する。
皮膚及び身体の保護具	適切な耐化学薬品性の衣服を着用する。
<b>9. 物理的及び化学的性質</b>	
外観	
物質の状態	固体。
形状	固体。
色	データなし。
臭い	データなし。
pH	データなし。
融点・凝固点	データなし。
沸点、初留点と沸騰範囲	データなし。
引火点	データなし。
燃焼性 ( 固体、ガス )	データなし。
燃焼又は爆発範囲	
燃焼範囲 - 下限 (%)	データなし。
燃焼又は爆発範囲 - 上限	データなし。
爆発下限界 ( % )	データなし。
爆発上限界 ( % )	データなし。
蒸気圧	データなし。
蒸気密度	データなし。
比重 ( 相対密度 )	データなし。
溶解度	
水溶性	データなし。
n-オクタノール / 水分係数	データなし。
自然発火温度 ( 発火点 )	データなし。
分解温度	データなし。
粘度 ( 粘性率 )	データなし。
その他の情報	
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。
<b>10. 安定性及び反応性</b>	
反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学安定度	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物は知られていない。

## 11. 有害性情報

急性毒性

知見なし。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

重篤な眼の損傷を引き起こす。

呼吸器または皮膚感作性

呼吸器感作性

呼吸器感作性物質でない。

皮膚感作性

この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。

生殖細胞変異原性

本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。

生殖毒性

この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。

特定標的臓器毒性（単回暴露）

分類基準に該当しない。

特定標的臓器毒性（反復暴露）

分類基準に該当しない。

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性でない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性

この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。

残留性/分解性

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

データなし

他の有害影響

その他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、これらの成分からは期待されません。

## 13. 廃棄上の注意

適用される全ての法規に準拠して廃棄しなければならない。

残余廃棄物

現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。

汚染容器及び包装

製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の廃棄規制

廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

IATA

UN number

3260

UN proper shipping name

Corrosive solid, acidic, inorganic, n.o.s.

Transport hazard class(es)

Class

8

Subsidiary risk

-

Packing group

III

Environmental hazards

No.

ERG Code

8L

Special precautions for user

Not available.

Other information

Passenger and cargo aircraft

Allowed with restrictions.

Cargo aircraft only

Allowed with restrictions.

IMDG

UN number

3260

UN proper shipping name

CORROSIVE SOLID, ACIDIC, INORGANIC, N.O.S.

Transport hazard class(es)	
Class	8
Subsidiary risk	-
Packing group	III
Environmental hazards	
Marine pollutant	No.
EmS	F-A, S-B
Special precautions for user	Not available.
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送	該当しない。
IATA; IMDG	



国内規制 国内輸送については 15 章の規制に従うこと。  
 緊急時応急措置指針番号 154

## 15. 適用法令

### 労働安全衛生法

#### 通知対象物

該当せず。

#### 表示対象物

該当せず。

### 毒物及び劇物取締法

#### 特定毒物

該当せず。

#### 毒物

該当せず。

#### 劇物

該当せず。

### 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

#### 第一種特定化学物質

該当せず。

#### 第二種特定化学物質

該当せず。

#### 監視化学物質

該当せず。

#### 優先評価化学物質

該当せず。

#### 届出不要物質

該当せず。

### 化学物質排出把握管理促進法

#### 特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

#### 第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

#### 第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

### 船舶安全法・危規則

腐食性物質

### 航空法・施行規則

腐食性物質

## 火薬類取締法

該当せず。

## 16. その他の情報

### 引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices  
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank  
IARC発がん性評価モノグラフ  
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens  
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告  
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月  
JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法  
JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート ( SDS )

Materion Advanced Chemicals Inc. は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。

本書は、技術的に信頼がおけるとみなされる情報源からのデータと、正しいと見なされる情報に基づいて作成されているが、Materionは本書に明示もしくは暗示されている情報の正確性について保証するものではない。Materionは、この情報およびその製品が使われるすべての状況を予測することはできず、また製品使用時の実際の条件は統制できない。従って、ユーザーはこの製品を特定目的のために使うにあたり、分かり得るすべての情報を評価し、国及び地方公共団体の法令に準拠する責任がある。